

質問事項	大塚先生より	園部先生より
猫にシリンジで水剤を与えているのですが嫌がってこぼしてしまいます。うまく飲ませる方法があれば教えてください。	猫や犬は嫌がるかと後ろに逃げるので、薬を上げる時には自分はある程度座って股に猫を入れて逃げ道をふさいであげたりしています。あとは顔も後ろに引くのでシリンジを持っていない手で顔を後ろから抑えたりもします。	猫が後ずさりしないように猫の背中に壁をつくるように保定する。投薬は犬歯の後ろのスペースから入れてあげるか、口を開けさせてくれる子であれば口を開けてなるべく奥に入れてあげる。少し上を向かせてあげると自然と喉の方に流れていき反射で飲み込んでくれやすいです。 猫は鼻のあたりを触ると飲み込みの仕草をしやすいので、投薬後に鼻周辺を撫でてあげるのも効果的かもしれません。可能であれば保定する人と投薬する人の2人体制だとやりやすいかと思います。
動物は喋れませんが、Person-Centred Care (患者中心性)のような考え方はあるのでしょうか？動物にも薬剤アレルギーがあるのかも気になります。	患者中心の考え方はあると思います。動物の苦痛はできるだけないように処置や薬を選択します。アレルギーもあります。内服薬は多くありませんが、ワクチンではアレルギーに遭遇することは多いと思います。	可能な限り飲みやすい剤型や製品を使うようにしています。同一成分でもメーカーによってフレーバーが異なったりする場合などあり、希望があれば指定の製品で調剤を行うこともあります。動物も食物アレルギーもあれば薬剤アレルギーもあります。抗生剤で消化器症状などはたまに見られます。また、フィリア症予防薬にはビーフや大豆を使用している製品もあり、食物アレルギーがある子には使用しないようにしています。
麻酔薬の監査は行っていますか？また抗がん剤（注射薬）の監査や調製を行っていますか？	麻酔薬や抗がん剤(注射薬)の監査は、もりやま犬と猫の病院ではまだ行えていません。他院ではそこまでやっている動物病院は知っています。	手術中も獣医師が麻酔医として立ち会っており、現状麻酔薬に関わることはありません。抗がん剤もミキシングは獣医師の役目になっていますが、ゆくゆくは薬剤師に任せたいと言われています。投与量監査も基本獣医師同士で行なっていますが、まれに投与量計算や抜き取り量チェックを頼まれることはあります。
動物病院に就職したいのですが、このまま薬剤師職の応募を待つか、動物看護師の資格をとってどうにかして病院に就職するか、どちらの方がいいでしょうか。大阪に住んでいるんですが、求人がほとんど出ていません。	大阪にも動物病院で働いている薬剤師の方は知っています。パートであれば見つかるかもしれないです。薬剤師で働くために愛玩動物看護師になるのは個人的にはかなり時間がかかり遠回りかと思えます。	動物看護師の資格を取ってというのはあまりおすすめはしないです。時間もかかりますし、動物看護師の仕事も大変な仕事です。せつかくの薬剤師の資格を最大限に活かせるよう薬剤師求人を探っていた方がいいかと思えます。
小児の総合病院の門前薬局に勤務しているのですが、割り切れない錠数の極少量の粉碎処方がたくさんきます。なぜ動物病院は分割が多いのですか？	分割ができないほど小さい場合は粉にします。ただ、飼い主によっては粉では犬・猫に投薬できないという人もいますので、飼い主に合わせて剤形を変えています。	飲む剤型で調剤するというのが大きな理由です。用量にある程度の幅のある薬剤が多いのでその範囲内や近似値であればOKとする場合が多いです。非常に体重の小さい子で錠剤が難しい場合はこちらから獣医師に粉碎で対応させてもらおうと問い合わせたり、厳密に投与量調整したい場合は獣医師から粉碎指示があります。
配合変化のお話もありましたが、例えば数種類の粉碎指示で混ぜたらいけないものや、動物薬で併用禁忌にあたるようなものはあるのでしょうか。	粉碎で混ぜたらいけないものは大塚が勉強不足で分かりません。ただ、シロップで混ぜる際には、サマリオンという活性酵素のサプリメントとピオフェルミンを混ぜると発砲してしまうのでNGとかはあります。併用禁忌は人と同じと考えて貰って大丈夫です。動物特有のものは大塚が勉強不足で分かりません。	当院は必ず一薬剤ごとに調剤を行っており配合変化などに出会ったことがなく、動物薬同士の配合変化や配合不可などがあるかはわかりません。猫にカロナールが禁忌など動物種特有の禁忌はありますが、動物特有の併用禁忌は無いかと思えます。
動物専門の調剤薬局のSNSで独自のフレーバーをつけて調剤しているとありました。どんな味をつけると飲みやすいのでしょうか？	味を付けるのであれば基本的に甘味になるかと思えます。しかし、猫は甘味を感じる味覚が乏しく甘味を感じないため、魚やお肉系の風味などの動物薬が多いと思います。	豚フレーバーやビーフフレーバー、魚フレーバーなどが動物薬で多いので甘い味よりはこのような味を好むのかなと思っています。特に猫は味覚で甘さを感じないのでそのような背景も考慮してのフレーバーかと思えます。
動物病院に薬剤師として就職したいのですが、先に人間の病院や調剤薬局に就職してからの方が良いですか？新卒として動物病院に就職は可能でしょうか？	人の病院や薬局を経験すると人医療のノウハウは取り入れやすいかと思えます。当院は新卒薬剤師を採用しているため、2人目であれば新卒でも大丈夫なのではないかと考えています。	先にヒト医療で薬の知識や簡単な注射薬の調整に慣れていると強みにはなりますが、新卒で入っていたら全く問題ないと思えます。

<p>ヒトの医療と比べて院内製剤が必要となることも多いのかと思いましたが、実際のところ如何でしょうか？</p>	<p>シロップ剤を院内製剤とするのであれば、飼い主が投薬しやすい様に加工が必要なので院内製剤が多くなるかと思えます。</p>	<p>当院では院内製剤はあまり使用していません。下痢止めのみ当院独自の配合で数種類散薬を混合したものを使用していますがその程度です。</p>
<p>実際に飼い主さんに服薬指導を行うことはありますか。また、飼い主さんから直接薬について相談されることはありますか</p>	<p>調剤後は薬剤師からも飼い主にお薬のお渡しをしますので、服薬指導は行います。その際に飼い主から質問もされることは少なくないです。</p>	<p>作成した薬を飼い主さんにお渡しもしているのですが、その際に簡単な説明は行っています。詳しい薬効などは獣医師の診察でお願いしていて、用法用量や作成した剤型の確認などとしています。薬の作用や薬効に対する相談や質問はそれほど多くないですが、薬の保管方法や飲み忘れた場合の対応、薬の味や投薬後吐き出してしまった場合の対応などは比較的よく聞かれます。</p>
<p>訪問医療のようなものはありますか？</p>	<p>獣医師が往診というかたちで訪問診療があります。ただ、薬剤師が関わることは今のところ、もりやま犬と猫の病院ではありません。</p>	<p>往診は動物業界でもあります。歩行困難になってしまった大型犬などニーズはあります。当院でも以前は往診で皮下点滴など獣医師と看護師が患者様宅で行っていたことがありますが現在は当院は往診は行っておらず、薬を届けるなどのこともやっております。</p>
<p>動物病院でも漢方薬が処方されるケースを聞いたことがあります。先生方も動物病院で漢方薬を処方された経験はございますか？また、動物に漢方薬を処方する際の注意点などございましたら教えていただくと幸いです。</p>	<p>漢方は動物用の漢方がサプリメントとして販売されているのでそちらの使用や、当院ではツムラの大建中湯を使用しています。漢方薬局のように煎じるなどは行っていません。注意点があるとすれば、味の問題と症状の緩和を犬から直接聞くことができないので効果が分かりにくく飼い主が効果を実感するのに時間がかかることが多いことかと思えます。</p>	<p>当院では大建中湯と六君子湯は使用経験があります。やはり一回一包ではなく再分包が必要になってくるので、再分包後の吸湿など保管方法には気を付けてもらうようにしています。</p>
<p>感染症やけが以外で遭遇する薬物治療はありますか。がんに対する治療、緩和ケアにも興味があります。安楽死もあるかもしれませんが、最期まで寄り添う飼い主さんともいますが、どのように対応していますか。眠剤などの使用もあるのでしょうか？</p>	<p>感染症やケガ以外では、がんの治療はもちろんありますし、緩和ケアという分野まで体系的にはなっていませんが考え方はあります。その他は、心不全、クッシング症候群、膀胱炎など色々あります。安楽死は完全に飼い主の希望になるので、依頼があればインフォームをしっかりと行い、行う事もありますがそこまで多くありませんし薬剤師が関われることは今の所ほとんどありません。眠剤も使いますが、人と違いB Z D系はほとんど使いません(あってもジアゼパムのてんかんでの使用がメイン)。ガバペンチンやフルオキシセチン(パロキシセチンの類似薬)の鎮静作用を逆手にとって使用することがあります。</p>	<p>てんかん発作や心臓疾患、腎臓病など動物に対しても薬物療法は多岐に渡り行われています。安楽死もやっていますが、薬剤師が関わることはありません。眠剤はロラゼパムやプロチゾラムを使用することもあります。ガバペンチンを高用量で使用して鎮静作用に期待したり、動物用オピオイド鎮痛剤として発売されているブトルファンールを鎮静や睡眠導入剤として使用するケースが多いです。最近ではトラゾドンやフルボキサミンを使うこともあります。</p>
<p>海外での獣医療における薬剤師の役割の情報もあれば教えていただけますでしょうか。</p>	<p>海外での獣医療の役割はそこまで詳しくありませんが、薬局に動物用の薬品やサプリメントの販売があるようです。</p>	<p>海外の方が動物業界でも薬剤師が活躍していると聞いたことがあります。動物薬も海外の方がバリエーションが豊富であったり安価な場合があるので、多くの病院が外国薬を輸入して錠剤していると思います。</p>